

2025 年度

学校名 横浜市立さわの里小学校

対象学年 3年2組

① 学習指導案

プログラム	No.05「 地域カルタをつくろう 」
単元名 (全84時間)	さわかる!～3-2からさわのまちへつなげ!～
学習のねらい	地域の方々に取材をしたり地域かるたを作るチームの方々と関わりながら地域のよいところを伝えるかるたをつくったりする活動を通して、地域には様々な魅力・特徴があることに気付き、地域のために働いている人や町づくりのために取り組んでいる人々の思いを理解し、地域の中で自分にできることについて考え、協働的に取り組むことができるようにする。
学習内容	1 学習計画を立て、かるたをつくってみる。 2 「さわかる!」のネタを集める。 3 まちのよさがつたわるかるたを考える。 4 「さわかる!」で遊んで、まちのよさをつたえる。
参考資料 準備品 実施場所等	参考：金沢区ご当地カルタ「カナかる!」企画・運営チームと関わり、「カナかる!」を用いながら実施した。 実施場所：教室、地域のお店や施設にフィールドワークを3回




学習の流れ




時間	学習活動	教師の指導	評価
	1 学習計画を立てる。「地域の人と関わりたい」という思いを具体的にし、単元のゴールを明確にする。 2 かるたをつくってみる。「カナかる!」企画・運営チームと関わり、かるたづくりで大切なことを学ぶ。 3 インターネットやフィールドワークで調べたりインタビューをしたりしてさわかる!のネタを集める。 4 まちのよさが伝わるかるたを作る。調べて分かったことからテーマに基づいてグループでかるたをつくる。	・NHK for school「ドスルコスル」を見て総合的な学習のイメージをもたせる。 ・学習計画を話し合い、立てる。 ・カナかる!企画・運営チームの方にさわかる!を見ていただき、ご指導をいただく。 ・インターネットで調べたり学校にポストを置いて全校児童からネタを集めたりする。 ・さわかる大会の計画を立て、まちのよさが伝わるさわかる大会を開く。	・ <b>主体的</b> (観察)  ・ <b>知・技</b> (観察、発言、振り返り)  ・ <b>知・技</b> (発言、振り返り) ・ <b>思・判・表</b> (観察、発言、振り返り) ・ <b>思・判・表</b> (観察、発言、振り返り) ・ <b>主体的</b> (振り返り)

<留意点>

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立さわの里小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
24時間	教室	<p>【学習計画を立て、かるたをつくってみる。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・かるたを作って、成果と課題を話し合う。</li> <li>・今後の学習計画を立てる。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合の学習のイメージをもつことができた。</li> <li>・かるたを作ってみたい。</li> <li>・作ってみると難しい。</li> </ul>
20時間	教室 まち調べ	<p>【「さわかる！」のネタを集める。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちが思うさわの里のまちのよいところ、もっと知りたいところを話し合う。</li> <li>・「カナかる！」を楽しむ。</li> <li>・かるたづくりのコツを教えていただく。</li> <li>・フィールドワークに行き、地域の人々の思いを聞き、まちのよさを調べる。(3回)</li> <li>・ポストを作り、全校児童からかるたにしたいネタを集める。</li> </ul>	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「カナかる」をやってみて楽しかった。さわかる！が完成するのが楽しみ。</li> <li>・さわの里のまちをもっと調べる必要がある。</li> <li>・あのお店のことをかるたにしたい。</li> </ul>
20時間	教室	<p>【まちのよさがつたわるかるたを考える。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークで分かったことを付箋に書き出し、さわかる！マップにまとめる。</li> <li>・どのネタをかるたにするか、かるたのテーマと照らし合わせながら話し合う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールドワークに行き、さわの里のまちにたくさんのいいところや優しい地域の方がいることが分かった。</li> <li>・知らなかったことが知れて嬉しい。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教えてもらったかるたづくりのコツを踏まえて、読み札→絵札の順で作る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・はやくかるたにして伝えたい。</li> <li>・「カナかる！」を参考にして作ることができた。</li> <li>・さわかる！大会で地域の人にさわの里のまちを知ってほしい。</li> </ul>
20時間	教室	<p>【「さわかる！」で遊び、まちのよさを伝える。】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・さわかる！大会（カナかる企画・運営チーム、保護者、全校向け、地域の人）の計画を立てて、準備を行う。</li> <li>・次のさわかる！大会をよりよくするために、成果と課題を話し合い、PMIチャートにまとめる。</li> <li>・学習全体を振り返る。</li> </ul>	 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さわかる！が完成して嬉しい。</li> <li>・さわかる！をたくさんの人に楽しんでほしい。</li> </ul>

### ③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>まちのよさを見つけるために、さわの里のまちを支えてくださっている地域の方にインタビューをして調べる活動を取り入れた。まちのよさを伝えるかるたを作るために、お手本となるものがあるとイメージをもつことができるとともに、地域のためにこのような活動をしている方がいるということを知ることができると思い、プロの方と関わり、「さわかる！」づくりのアドバイスを教えていただいたり、「カナかる！」と一緒にやることでかるたの楽しさを学んだりすることができた（本単元では「カナかる！」企画・運営チーム2名の方を9月と2月にお呼びした）。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦労した点</p> <p>地域のよさを調べるための調査活動（フィールドワーク）の時間をもう少し取りたかった。地域の方と複数回関わり、関係を深めたかったという反省がある。かるたづくりでは、グループで作成を行ったため、時間を要した。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>フィールドワークに行って、地域の方と関わり、いろいろな話を聴く中で、「楽しかった</p>

！」「〇〇教えてもらった！」「知らなかった！」など新たなまちの魅力に気付く様子が見られ、「自分たちの住んでいるまちだけど、知らないことがたくさんあった。」と振り返る児童もいた。「さわかる！」が完成したときには、「頑張ってたよかった。」「泣きそう。」などと友達と喜び合う姿が見られ、達成感を感じていた。

(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化

フィールドワークや「カナかる！」企画・運営チームとの関わりは、子どもたちの深い学びにつながったと実感している。知らなかったことが知れて、みんなに教えたいという思いがとても高まったように思う。集まったネタから「さわかる！」のテーマに合うネタを選定する際には、児童一人ひとりのまちに対する思いが強く、たくさん話合いを積み重ねたため、「さわかる！」が完成したときには、教師自身も子どもと同じ思いでとても嬉しかった。

(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕

まちのよさを集めるための調査活動（フィールドワーク）後の整理・分析の方法が課題。小グループに分かれて調査活動を行ったため、一つの情報についても知っている児童とそうでない児童とができてしまった。クラスで一つのものを作成するときの、情報共有の方法やタイミングなど今後検討していきたい。